魅力あふれる県立高校推進ビジョン改定版（香川県高校教育改革実行計画）
素案の概要

「魅力あふれる県立高校推進ビジョン」は、令和３年度から 10 年間を対象とし、５年を経過した段階で、社会の変化等に応じた検証を行い、必要に応じ修正を加えることとなっていた。一方で、現行の香川県教育基本計画（令和３年度～令和７年度）の計画期間を、県の総合計画に合わせて令和８年度末まで延長することとなったことや、県立高校を取り巻く環境に大きな変化があったことから、６年を経過した段階で、本計画の改定を行うこととなった。

また、令和８年２月に、国において高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）が示され、「不確実な時代を自立して生きていく主権者として、ＡＩに代替されない能力や個性の伸長」「我が国の経済・社会の発展を支える人材育成」「一人ひとりの多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保」の３つの視点から高校教育改革を進めていくべきこと、各都道府県が「高校教育改革実行計画」を策定することが示された。

急激に変化する社会に対応するため、これからの高校教育は社会との接続をより意識した取組みが求められている。生徒一人ひとりの可能性を広げ能力を伸ばすことと、そのための教育環境の整備が不可欠である。こうした背景から、本計画の改定は「高校教育改革実行計画」の策定と一体のものとして位置づけられる。

検討にあたっては、有識者による「県立高校の在り方に関する協議会」、地域の教育関係者による「中讃地域の県立高校の在り方に関する懇談会」を設置し、多方面から意見を聞くとともに、小中高校生とその保護者を対象とした進路に関するアンケート、高校生を対象とした高校選びに関するアンケート、若者からの意見聴取等も実施した。

第１章　本計画について
１．計画策定の趣旨
２．計画の位置づけ
３．計画期間　令和９年度から 12 年度
４．計画策定までの経緯（検討体制など）

第２章　本県における高校教育の現状と課題
１．計画策定後の高校教育を取り巻く社会的な状況
（１）想定を上回る少子化と人口減少の進行
（２）ＡＩ・デジタル技術の進展による社会や産業の構造の変化
（３）グローバル社会の進展
（４）高等学校就学支援金制度の拡充（いわゆる高校の授業料無償化）
（５）多様な学習ニーズに対応した遠隔授業等の制度変更

２．本県における高校教育の現状と課題

（１）県立高校の現状　学区、学科の配置、学校の規模

（２）本県の高校生の現状　高校進学時の動向、高校卒業後の進路、定時制通信制の現状

（３）計画策定後の取組み　東讃地域の高校再編整備、全国からの生徒募集、学区の弾力的な運用、公立高校の魅力化・特色化と積極的な発信、探究的な学びの推進，ＩＣＴ環境の整備

（４）残された課題　公立高校の出願率や競争率の低下、将来の人材需給ミスマッチへの対応、高校入試改革、不登校経験生徒や不登校生徒の増加

第３章　高校教育改革の基本的な考え方と方向性

１．改革の基本的な考え方

（１）県立高校の果たすべき役割

予測困難な未来を生きていくために必要な資質・能力を育成する。

そのために、地域、社会との接続や学びの連続性を重視。多様な学びのニーズに対応。

（２）すべての県立高校で育成すべき資質・能力

①知・徳・体のバランスの良い成長 ②学びに向かう態度 ③グローバル社会への対応
④郷土への理解・郷土愛 ⑤イノベーション創出力　＋⑥情報活用能力

２．改革の方向性（2040 年に向けた高校の姿）

（１）専門高校の機能強化・高度化

（２）普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化

（３）地理的アクセス、多様な学びの確保

３．改革の普及・展開

創る（改革先導拠点４校）→つなぐ（協力校ネットワーク）→広げる（全県立高校）

第４章　高校教育改革の実現に向けて中核となる３つの施策等

１．専門高校の機能強化・高度化

実践的キャリア形成と専門教育環境の高度化、学科横断型ＰＢＬ（課題解決学習）の実践、
専門知識技能を活かした地域協働・未来価値創造プロジェクト、
高等教育機関との接続による高度技術者の育成、幼保･小･中との連携による専門高校の理解促進

２．普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化

自然科学系、学際系探究の推進、外部連携による理数系キャリア教育の充実、
文理融合型探究の推進、文理融合型カリキュラムの編成、
専門学科との連携カリキュラムの推進

３．地理的アクセス、多様な学びの確保

地域や学校規模の制約を超えた学びの高度化と選択肢の拡充、
コーディネーター配置による学校と地域の協働・学習環境の深化、
関係機関の連携・協働による切れ目のない学習環境の提供

第５章　高校教育改革の実現に向けた基盤的施策

１．学校運営の改善

（１）学校の教育目標の実現に向けた学校裁量の拡大

（２）コミュニティ・スクールの導入と外部機関との共創

２．教育環境の整備・教職員を取り巻く環境の整備

（１）学校・学科の配置について

配置の基本的な考え方	高校の再編・統合や学科配置は、単なる規模維持ではなく教育の質や魅力の向上を目的とし、通学環境や地域産業の特性やニーズ、私立高校の設置状況等を踏まえて適切に行う。
東讃地域の県立高校の再編整理	石田・志度・津田の３校を統合して令和 12 年 4 月に開校する新高校は、５つの学科を集約した横断型教育や地域連携機能を備え、本県の高校教育改革を先導する中核拠点を目指す。
中讃地域の配置のあり方	中学卒業者の急減が見込まれる中讃地域において、学びの維持・向上を最優先に、統合を含めた県立高校の配置方針を計画期間内に定める。

通学支援の実施を検討する。

多部制の定時制を含めた昼間定時制の設置や定時制・通信制の併修などを検討する。

（２）学校施設等の整備方針

計画に基づき、安全で質の高い教育基盤を確保、拠点校の先進施設や ICT 環境の整備、県域教育クラウドの運用を推進

（３）教職員を取り巻く環境整備

人的資源の配置と活用、業務効率化、業務量削減、関係機関との連携、健康・福祉の確保

（４）確かな指導力を有する教員の確保

（５）教員研修・人事配置

専門性の高い研修の実施や外部人材の確保、教員の資質向上と改革成果の県内波及

３．中高接続の改善

（１）高校入学者選抜の改善　学区、入試日程、選抜方法の見直し

（２）全国からの生徒募集（せとうち留学）の推進

（３）中高一貫教育の充実

地元への影響や県外進学ニーズを踏まえ、リーダー育成を目指す中高一貫校の設置検討を中讃地域から高松地域へ見直し、設置の準備を進める。地域連携型中高一貫校の設置も検討する。

４．高大連携・接続の推進

（１）大学・地域共創プラットフォーム香川を核とした高大連携・接続体制の構築

（２）高等教育との連携による教育課程の高度化と学修評価・接続システムの確立

（３）大学リソースを活用した教員指導体制の高度化と伴走支援ネットワークの形成

５．生徒・保護者・県民への周知と改革機運の醸成

（１）発信する内容と対象

（２）多様な手法による情報発信

第６章　計画の進捗

１．進捗の管理と評価

２．推進体制